

## 目 次

<b>第1章 豊島区立さくら小学校の概要</b> .....	1
1 校名、校章、教育目標	
(1)校名の由来と校章について	
(2)学校の教育目標	
2 学校の規模等	
(1)学級数、児童数の推移	
(2)学級数、児童数	
(3)教職員の数	
(4)学校の日	
4 地域の状況	
(1)地理的背景	
(2)交通の状況	
<b>第2章 インターナショナルセーフスクールの取組</b> .....	4
<b>第3章 校内でのけがの発生状況</b> .....	5
1 身体のけが	
2 いじめによる心のけが	
<b>第4章 重点的・優先的に取り組むべき問題点</b> .....	10
<b>第5章 8つの指標に基づいた取組</b> .....	11
指標1：教師、子ども、事務・技術スタッフ、保護者の協働を基盤にした安全向上のための運営体制が整備されている	
1 インターナショナルセーフスクールの推進組織	

指標2：取組の方針（政策）は、セーフコミュニティの文脈に基づき、自治体や教育委員会等の方針と一致している。 .....	12
1 文部科学省の政策「第2次学校安全の推進に関する計画」	
2 東京都教育委員会の施策	
(1)「安全教育プログラム」(2020年)	
(2)「いじめ総合対策【第2次】[実践プログラム編]」(2017年)	
3 豊島区の施策	
「豊島区教育ビジョン2019」による安全・安心な学校	
4 学校の方針	
(1)本年度の教育方針	
(2)主な施策	
(3)児童会活動のスローガン	
指標3：長期的・継続的なプログラムによって、全ての性別・年齢（学年）、環境、状況がカバーされている。 .....	14
1 環境改善	
2 規則・ルール・人間関係づくり	
3 啓発・教育	
指標4：ハイリスクのグループ・環境及び弱者グループを対象としたプログラムがある .....	19
1 災害対策	
2 けがの防止	
2 感染症対策	
指標5：根拠（エビデンス）に基づいた取組みを行っている .....	20
(1)安全診断の結果	
(2)総合防災訓練	
(3)けがマップの作成	
指標6：事故・暴力や自傷などによる外傷の頻度・原因などを記録するプログラムがある .....	32

1 校内におけるけがの記録

指標7：学校政策（運営）、プログラム、そのプロセス、  
変化による効果について評価する方法がある ..... 34

1 プログラムの進行管理

2 対策と成果指標

指標8：国内・国際的なネットワークへ継続的に参加している ..... 36

**第6章 安全・安心な学校づくりに向けての今後の取組と展望 ..... 37**

## ごあいさつ



教育長  
金子 智雄

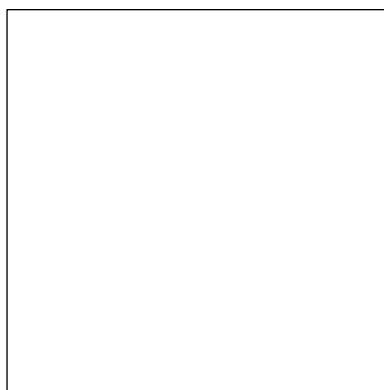
豊島区立さくら小学校は、世界保健機構（WHO）が推奨するインターナショナルセーフスクール（ISS）の国際認証の取得を目指し、児童・教職員・保護者・地域住民が一体となり、安全・安心な学校づくりに継続的に取り組んできました。

新型コロナウイルス感染症の拡大により認証申請を1年間延期しましたが、児童が主体となり、「いつ、どこで、どんなけがが多いのか」等のデータを基に、安全・安心な学校づくりを進めてきました。また、児童自らが日常生活を正しく学び、人や自分を大切にするために作成された「さくらしぐさ」「さくらのルール」をより意識し、実践するために児童ISS委員会が中心となり、見直し作業を行うなど積極的に活動しました。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症防止の観点から中止せざるを得なかった地域との合同防災訓練も、今年度は関係町会・諸機関と協議を重ね、万全な感染症予防対策の下、児童・教職員・保護者・地域住民が一体となった「総合防災訓練」を実施され、安全・安心への取組みの充実が図られていますことに改めて敬意を表します。

最後に「子供たちが安全・安心な学校生活を送れるようにすることは、地域の大人たちの役割」との地域対策委員会の力強いご支援により、取り組んできた安全・安心な学校づくり、まちづくりが評価され、インターナショナルセーフスクール認証を取得されることを心より祈念するとともに、関係者の皆様のご尽力に心より感謝申し上げます、あいさつの言葉とします。

## ごあいさつ



校長  
後藤 大輔

豊島区立さくら小学校では、安全・安心な学校づくりを目指し、インターナショナルセーフスクール（ISS）の国際認証取得に向けた教育活動に取り組んでいます。昨年度は新型コロナウイルス感染症予防のために活動も制限されていましたが、今年度は感染予防に十分配慮しながら安全・安心の実現に向けた取組を行っています。

校内での取組の柱となっているのが、本校のルールである「さくらしぐさ」「さくらのルール」です。お互いに気持ちよく、安全に、そして安心して学校生活を過ごすことができるように、子供たちが考えた学校のルールです。他にも各学年や5、6年生の児童で組織する委員会活動で、子供たちが自分たちで考えながら、工夫して活動に取り組んでいます。

また、保護者の方々には安全マップの作成や防犯パトロール等でご尽力いただいています。さらに今年度は、地域の方々にご協力いただき、合同防災訓練を実施しました。

これからも子供たちの思いを生かしながら、さくら小学校が一層安全で安心な学校となるよう推進して参ります。今後も保護者や地域及び関係の皆様のご指導、ご支援をさらにお願ひし、ご挨拶とさせていただきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## ごあいさつ

日頃より、さくら小学校の子供たちの安全・安心のための活動にご理解ご協力いただき、ありがとうございます。

さくら小学校は東京都豊島区の西部に位置し、2002年千川小学校と大成小学校を統合・開校しました。さくら小学校PTAは、家庭と学校と地域社会における児童の幸福で健全な成長を図ることを目的とし設立され、当時より変革を厭わず諸々の事業を展開してまいりました。

近年、子供たちを取り巻く環境は厳しさを増しています。さらに新型コロナウイルス感染症の流行により世界は劇的な変化を余儀なくされ、子供たちの健やかな成長と学びは危機的状況に陥っています。次世代を担う子供たちの安全を保障し、その社会的関心を高めていくことは、私たち保護者の責務であると考えます。

さくら小学校PTAは、今までもそうであったように、これからも、学校と地域～各町会・区民ひろば・地区青少年育成委員会・警察・消防の方々～と連携し、子供たちのために時勢にあった事業を創造していきたいと思えます。

皆様にはより一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

PTA 会長  
金平

## ごあいさつ

令和2年度よりインターナショナルセーフスクール（ISS）の国際認証習取得に向けて、さくら小学校ではISSに関する委員会を立ち上げ活動してきました。

今は、コロナ禍での活動がままならない状況ですが、コロナも災害の一つです。コロナの影響を受ける中でも、また緊急事態宣言下でも、3密に注意して安全・安心な日常生活を思慮することも大事な活動かと思えます。

子供たちが自力で安全・安心な学校生活を考えているときに、家庭生活はもとより地域での活動も三者一体となって考えていかなければならないと思えます。特に地域での通学路、遊び場、公園、交通多量場所、夜間の暗がり等を日頃からチェック機能を働かせなければと

思えます。是非とも地域ぐるみで見守り、パトロールを開始できればと考えています。このISS活動が地域ぐるみで連携できれば、子供たちが大人になって、この街で育ったことが思い出の「ふるさと」となり蘇ってくるのではないのでしょうか。子供たちの思い出づくりに皆様のご協力、ご支援をお願いいたします。

ISS 地域対策委員長  
本山 美子

## 第1章 豊島区さくら小学校の概要

### 1 校名、校章、教育目標

#### (1) 校名の由来と校章について

##### 校名の由来（～「さくら」とは～）

- 旧千川小学校と旧大成小学校の所在地が、かつて千川上水の桜堤の地であり、その当時の桜並木のイメージが地域住民に根付いている。
- 校庭には立派なさくらの樹木が多くあり、児童、保護者、地域住民に親しまれている。
- 親しみやすいようにひらがなの校名とした。



##### 校章「さくら」について

旧千川小学校と旧大成小学校のシンボルであるさくらの花と校名からシンプルなイメージで構成されている。

#### (2) 学校の教育目標

- 思いやりのある子                      ◎ 考える子
- やりとげる子                         ○ 元気な子

～地域を愛する子ども    地域が愛する子ども～

- 楽しく学ぶ    ○ 生き生きと活動する    ○ 信頼を得る
- 安心される                              ○ 補完し合う

### 2 学校の規模等

#### (1) 学級数、児童数の推移

年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
学級数	12	13	13	13	13
男子	190	177	169	179	181
女子	188	202	211	219	212
計	378	379	380	398	393

※ 児童数は、この数年変動はほぼありません。

(2) 学級数、児童数（2021年9月1日現在）

	学級	男子	女子	合計
1年生	2	36	31	67
2年生	3	37	41	78
3年生	2	21	33	54
4年生	2	34	38	72
5年生	2	26	35	61
6年生	2	27	34	61
合計	13	181	212	393

(3) 教職員の数

（2021年9月1日現在）

職名	人数
校長	1
副校長	1
主幹教諭・指導教諭	2
主任教諭	6
教諭・養護教諭	9
学級運営補助員・授業づくり支援員	3
講師（算数、ALT）	2
特別支援教育巡回指導教員	2
特別支援教育専門員	1
栄養士	1
スクールサポートスタッフ	1
事務主事・事務補助員	2
スクールカウンセラー	1
特別支援教育士	1
学校医・学校薬剤師	5
学校図書館司書	1
ICT支援員	2
スキップさくら所長	1
スクール・スキップ・サポーター	1
交通指導員（シバ-人材センター）	9
用務員・給食調理員（民間委託）	10

(4) 学校の日

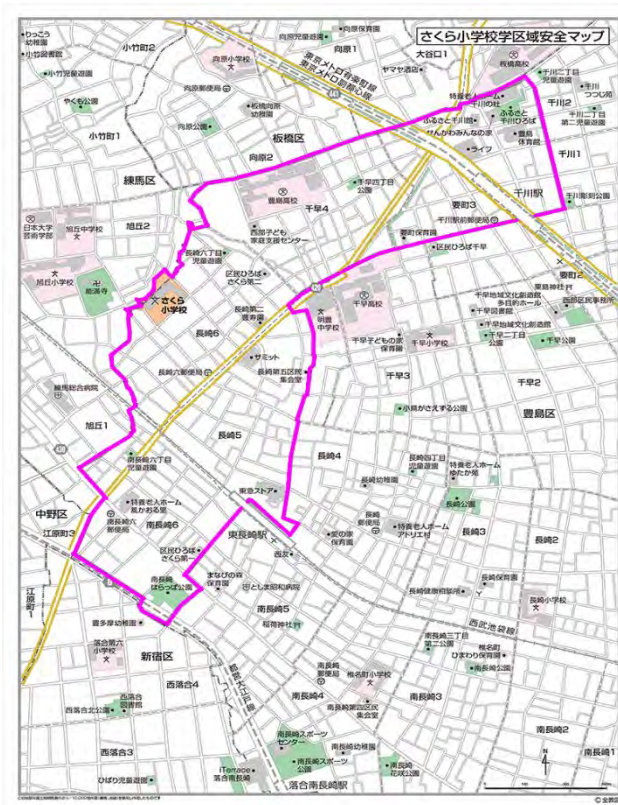
月	火	木	金	特別時程	特別時程	
8:15	登校時間				8:15	8:15
8:25	学習準備				8:25	8:25
8:30	全校朝会	朝学習	読書タイム	朝の会	朝の会	
8:45	朝の会				I	I
8:50	I	I	I	I	I	
9:25	トイレ休憩・教室移動・換気				9:25	9:25
9:30	II	II	II	II	II	
9:35	トイレ休憩・教室移動・換気				9:35	9:35
9:40	II	II	II	II	II	
10:25	中休み・換気				10:15	10:15
10:30	中休み・換気				10:30	10:30
10:35	トイレ休憩・教室移動・換気				10:35	10:35
10:40	トイレ休憩・教室移動・換気				III	III
10:45	III	III	III	III	III	
11:20	トイレ休憩・教室移動・換気				11:20	11:20
11:25	トイレ休憩・教室移動・換気				IV	IV
11:30	トイレ休憩・教室移動・換気				IV	IV
11:35	IV	IV	IV	IV	IV	
12:10	給食				12:10	12:10
12:20	給食				12:20	12:20
12:50	手洗い・うがいタイム				12:50	12:50
12:55	屋休み・換気				12:55	12:55
13:05	屋休み・換気				13:05	13:05
13:25	清掃・換気				V	V
13:40	清掃・換気				V	V
13:50	トイレ休憩・教室移動・換気				13:50	13:50
13:55	トイレ休憩・教室移動・換気				VI	VI
14:25	トイレ休憩・教室移動・換気				14:25	14:25
14:30	トイレ休憩・教室移動・換気				VI	VI
14:40	給食				14:40	14:40
14:45	給食				14:45	14:45
14:50	給食				14:50	14:50
15:15	給食				15:15	15:15
15:30	給食				15:30	15:30

## 4 地域の状況

### (1) 地理的背景

本校が位置する豊島区長崎・南長崎地域（地図1）は、豊島区の西北端に位置し、板橋区と練馬区に隣接している。旧大成小学校と旧千川小学校の学区域である、長崎6丁目、南長崎6丁目の全域及び長崎5丁目、千早4丁目、要3丁目の地域を通学区とする。西武池袋線と地下鉄有楽町線を利用でき、静かな住宅街で教育環境として恵まれている。

### (2) 交通の状況



交通量の多い「要町通り」と「千川通り」が通っていて交通事故も多いです。また、狭い道路が入り組んでいます。通勤時間帯を中心に、自転車やバイクの通行量も多く、危険な状況もみうけられます。近年、大きな事件は発生していません。



## 2019

2019. 5 ISS開始宣言

主な取組（2019年度）

- 地域へISS説明会開催
- ISS地域対策委員会発足
- 仰高小学校、池袋本町小学校のISS現地審査会へ参加

## 2020

主な取組（2020年度）

- 児童ISS委員会発足
- ISS地域対策委員会
- 仰高小学校、池袋本町小学校のISS認証式へ参加
- 池袋町学校ブロック（池袋本町小学校、池袋中学校、池袋第一小学校）児童・生徒ISS委員紙面交流会にて情報交換
- 代表委員会スローガン作成・発表

## 2021

2021. 7 事前審査会

主な取組（2021年度）

- ISS地域対策委員会
- 総合防災訓練
- 代表委員会スローガン作成・発表
- 校内研究（研究授業）
- ISS集会



2021年度校内研究

【研究主題】

主体的に判断し、自ら進んで行動できる児童の育成  
～安心・安全な学校づくりの視点を取り入れた教育活動を通して～



2021.	6	3年1組	研究授業	協議会
2021.	9	5年2組	研究授業	協議会
2021.	10	1年2組	研究授業	協議会

### 第3章 校内でのけがの発生状況

#### 1 体のけが

校内で発生したけがは保健室データとして収集します。その中で、通院する必要がある症状のけがについては、災害共済給付データとして収集します。

※ 災害共済給付とは、児童・生徒が学校の管理下で「けが」などをした時に、保護者に対して給付金が（災害共済給付）支払われる制度です。全ての区立小中学校で「けがの状況、種類や原因」について記録し、年1回、分析をしています

図3-1 けがの発生件数の推移

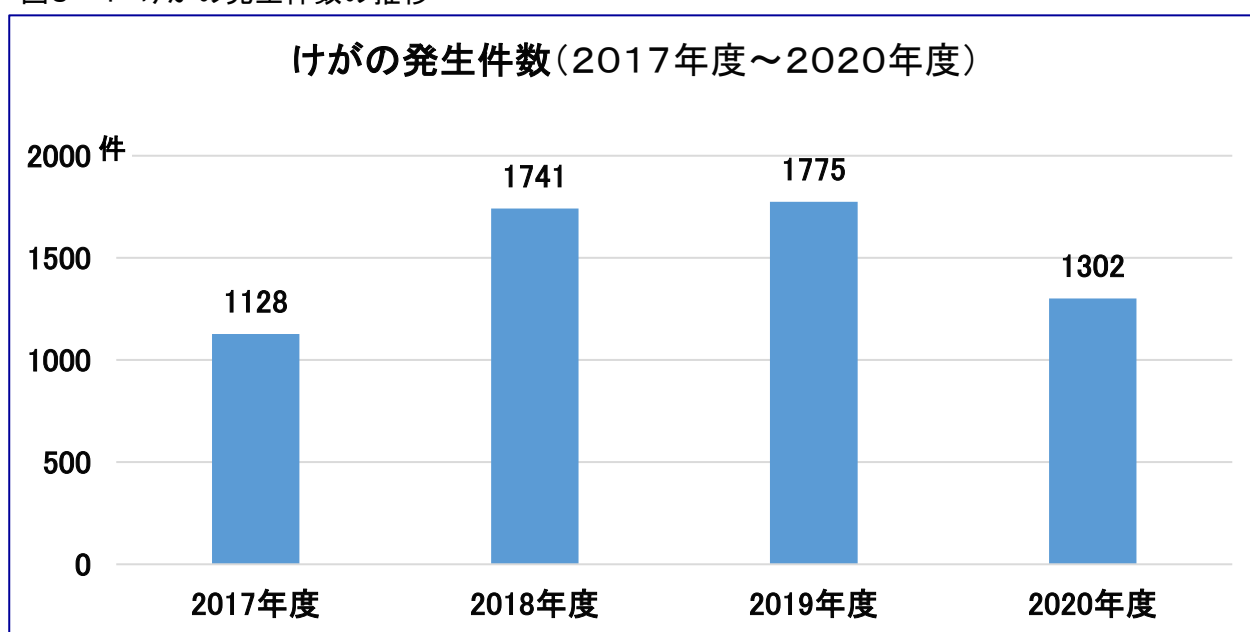


図3-2 月別けがの発生件数の推移

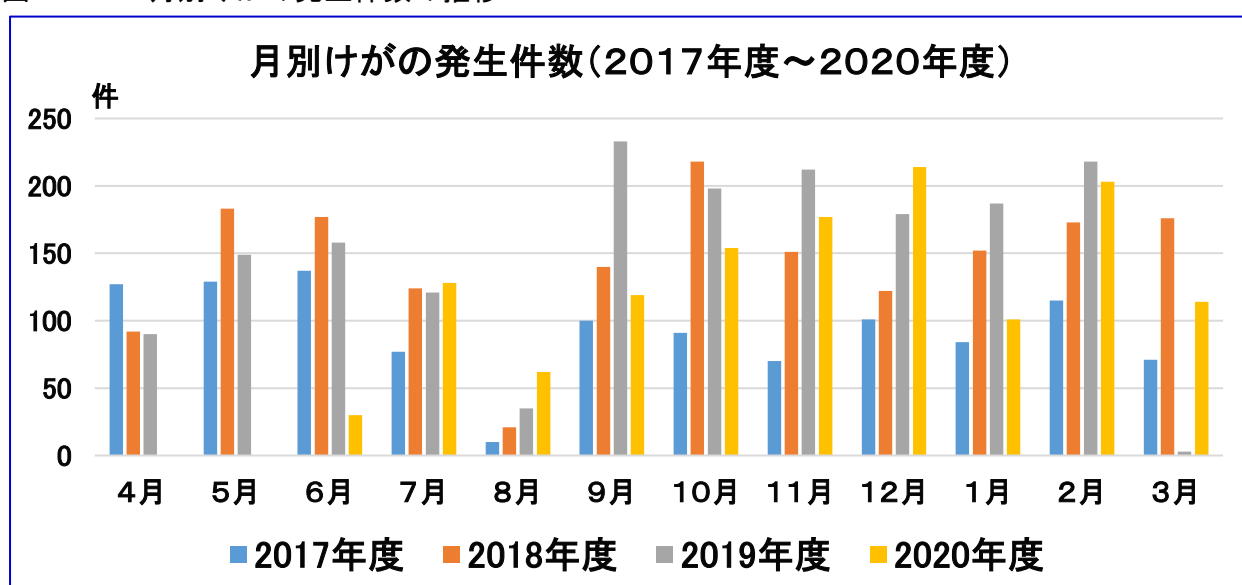


図 3-3 場所別けがの発生件数の推移

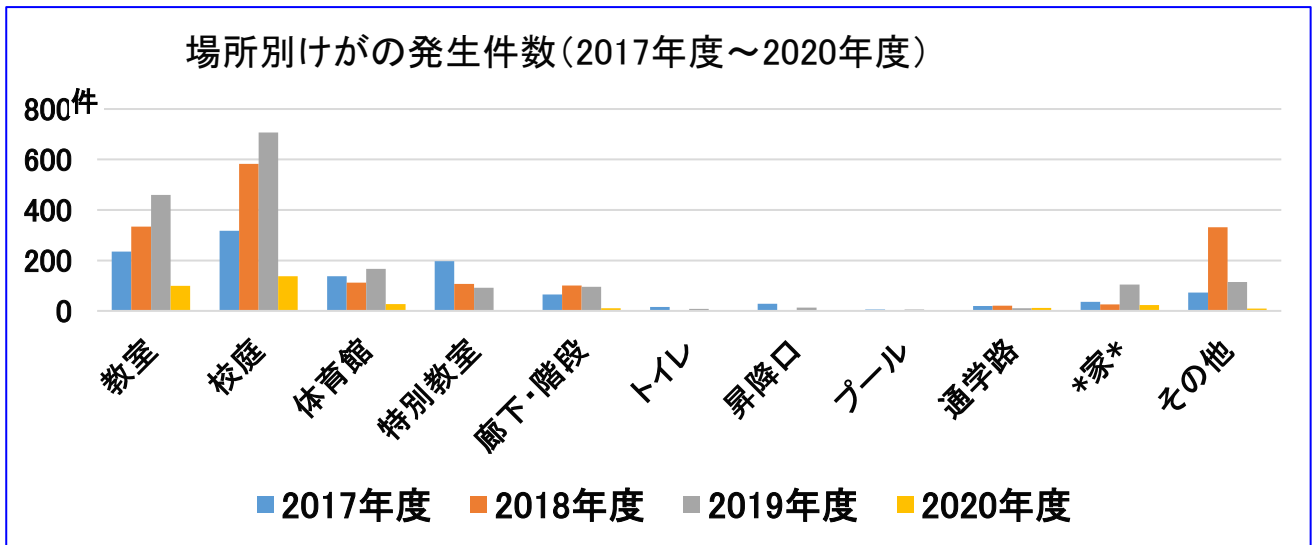


図 3-4 場面別けがの発生件数の推移

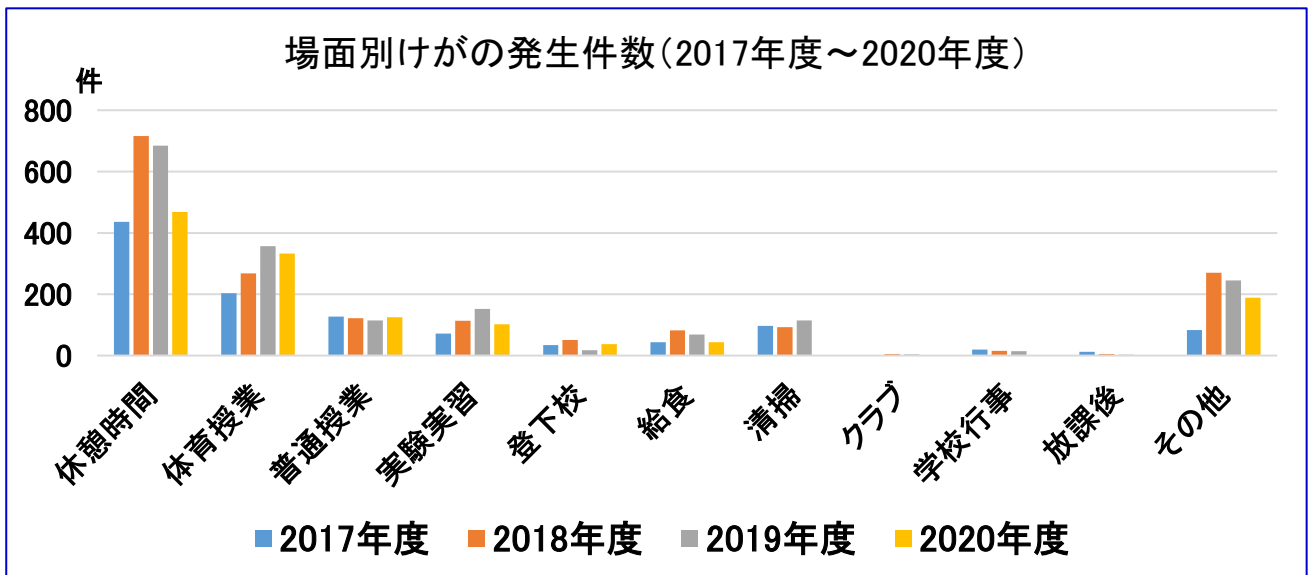


図 3-5 発生場所時間別けがの発生件数の推移

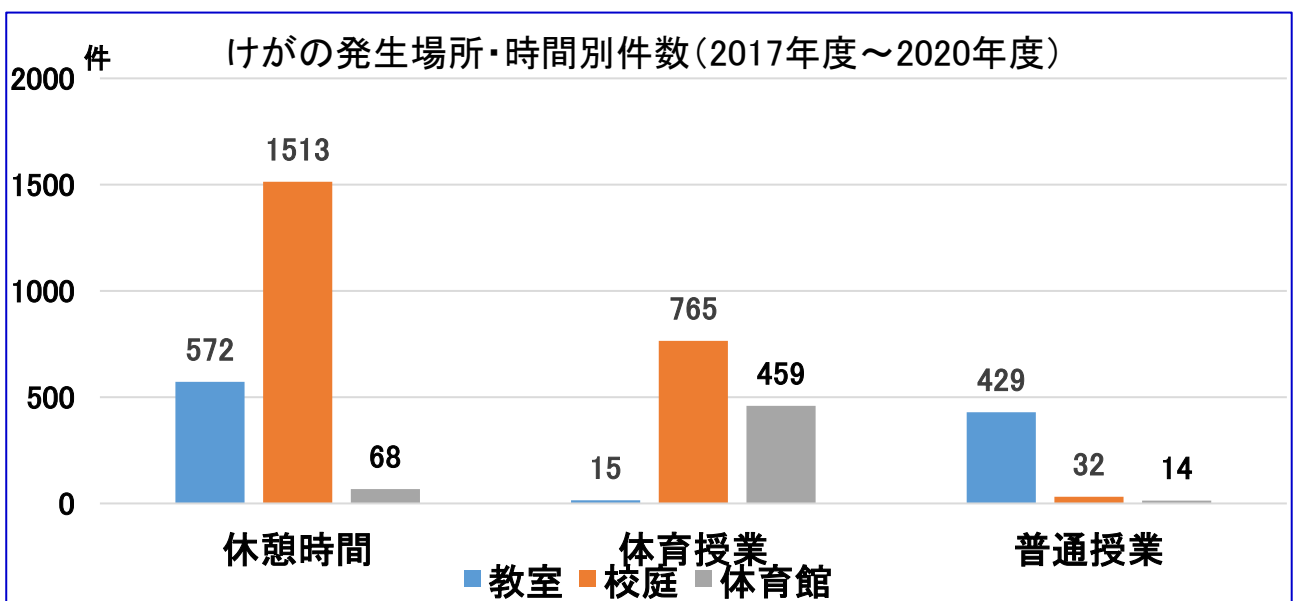


図3-6 学年別けがの発生件数の推移

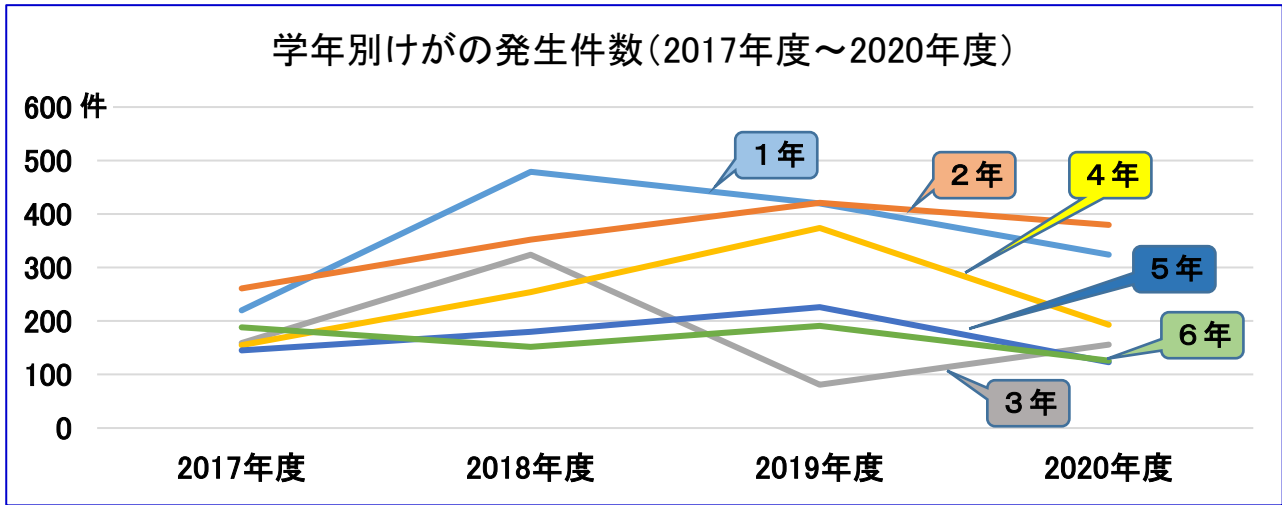


図3-7 原因別けがの発生件数の推移

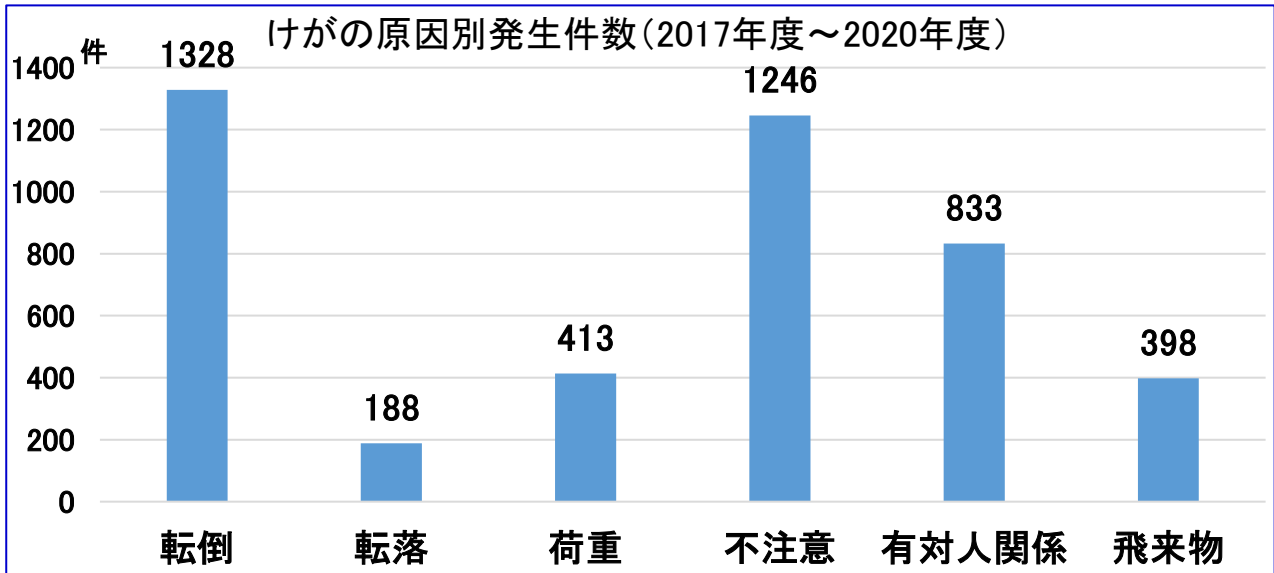


図3-8 症状別けがの発生件数の推移

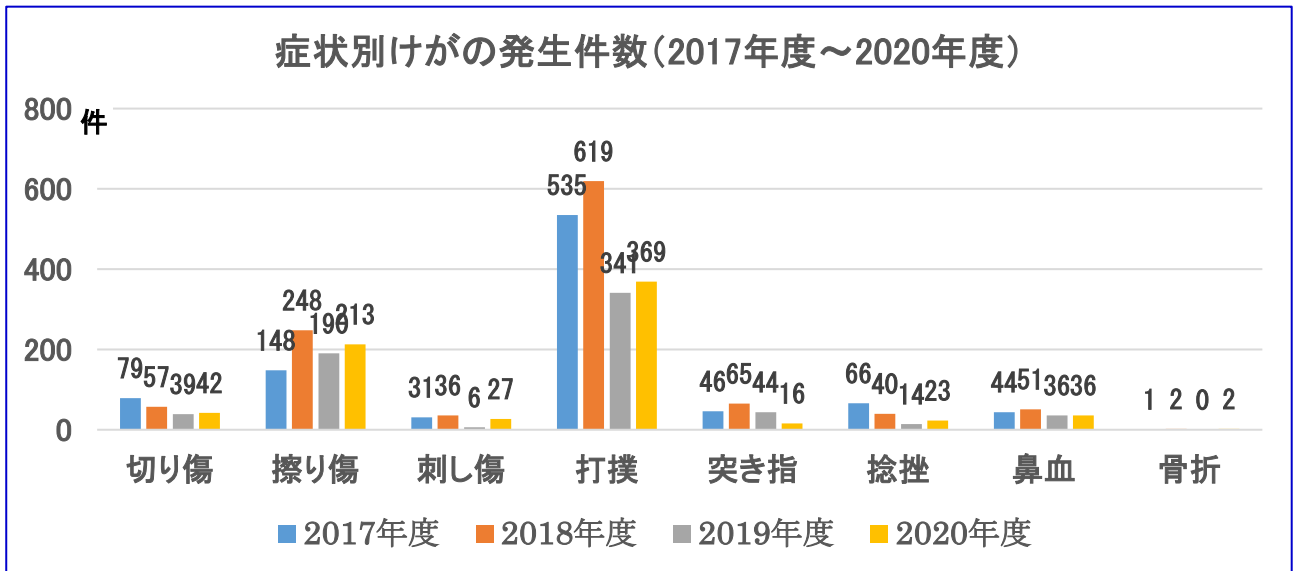


図 3 - 9

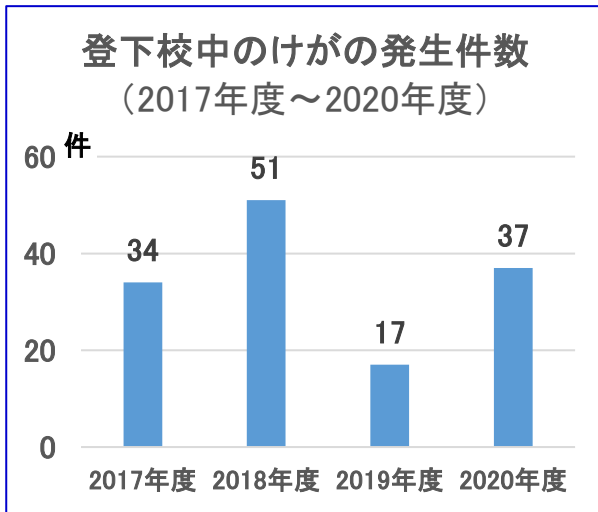


図 3 - 1 0

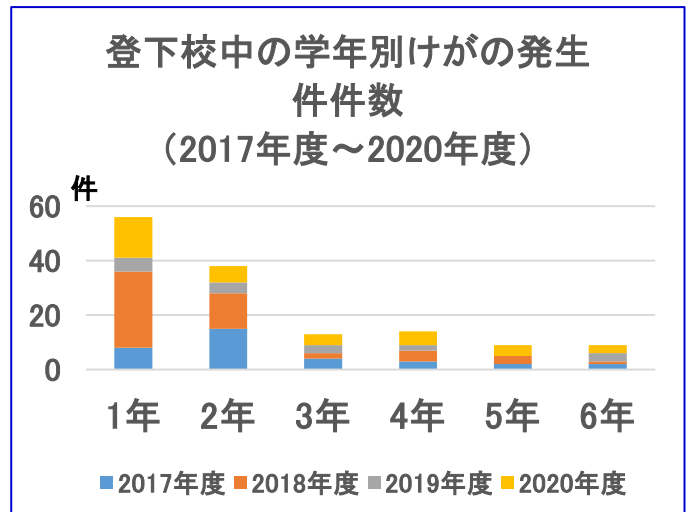


図 3 - 1 1

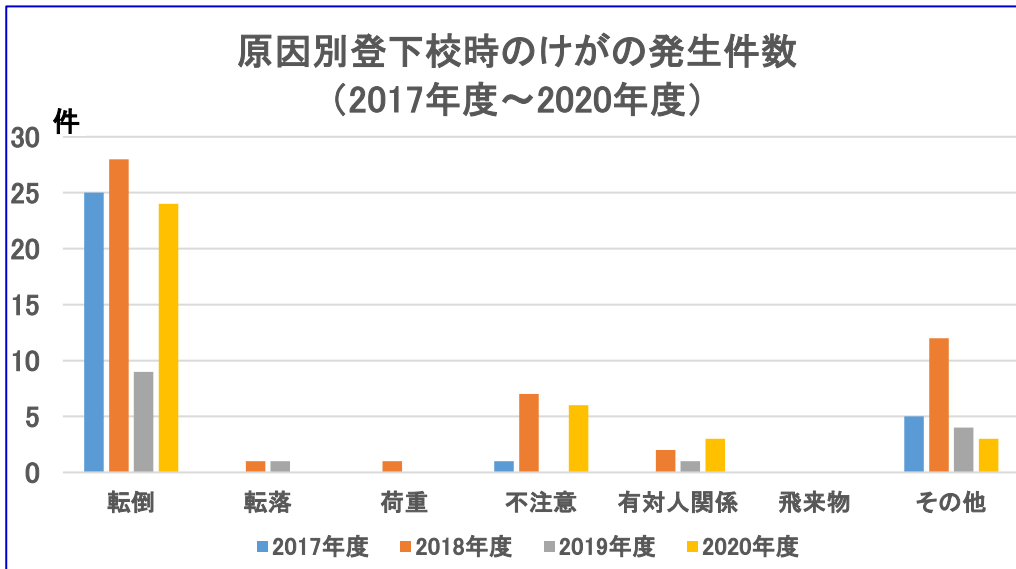
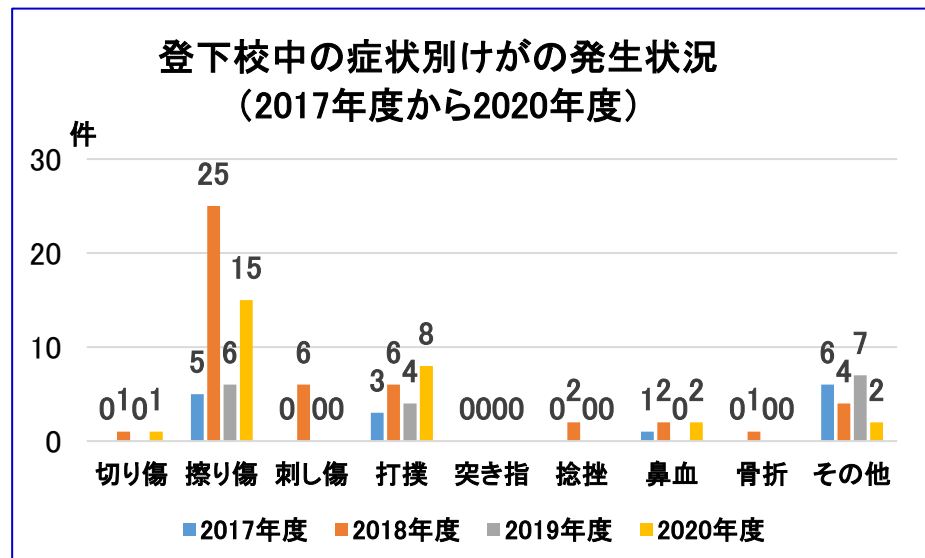


図 3 - 1 2



## 2 いじめによる心のけが

本校の教育目標の第一は「思いやりのある子」です。また、めざす子ども像は「地域を愛する子ども 地域が愛する子ども」であり、「楽しく学ぶ子 生き生きと活動する子」「信頼を得られる学校 安心される学校」です。「いじめのない、子どもたちが安心して通える学校」づくりこそが教育目標達成に向けた第一歩と考えています。

いじめは、自分より弱いものに対して、一方的に身体的・心理的な攻撃を継続的に加え、相手が深刻な苦痛を感じているものであり、絶対的に許されない人権侵害です。

図3-13 いじめの訴え件数

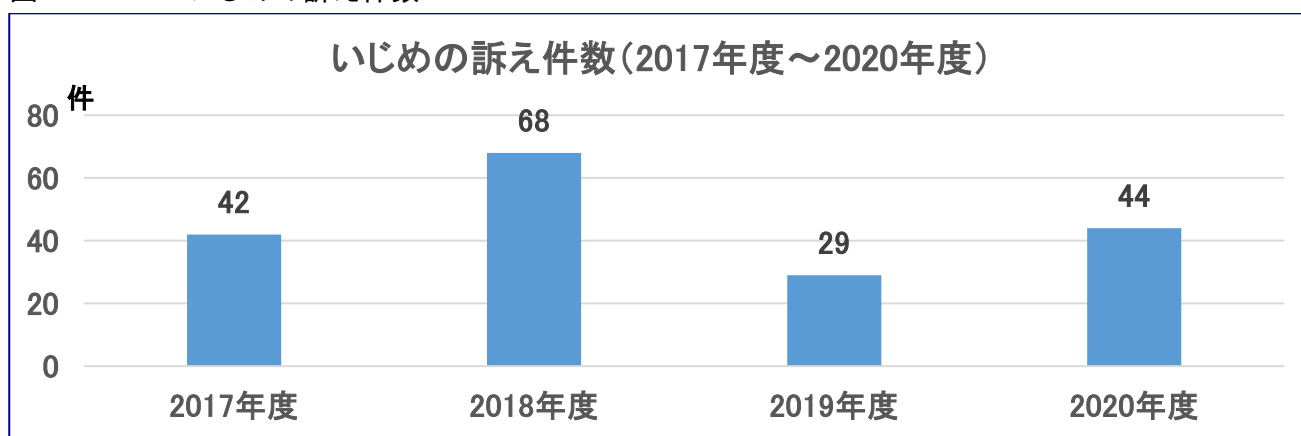
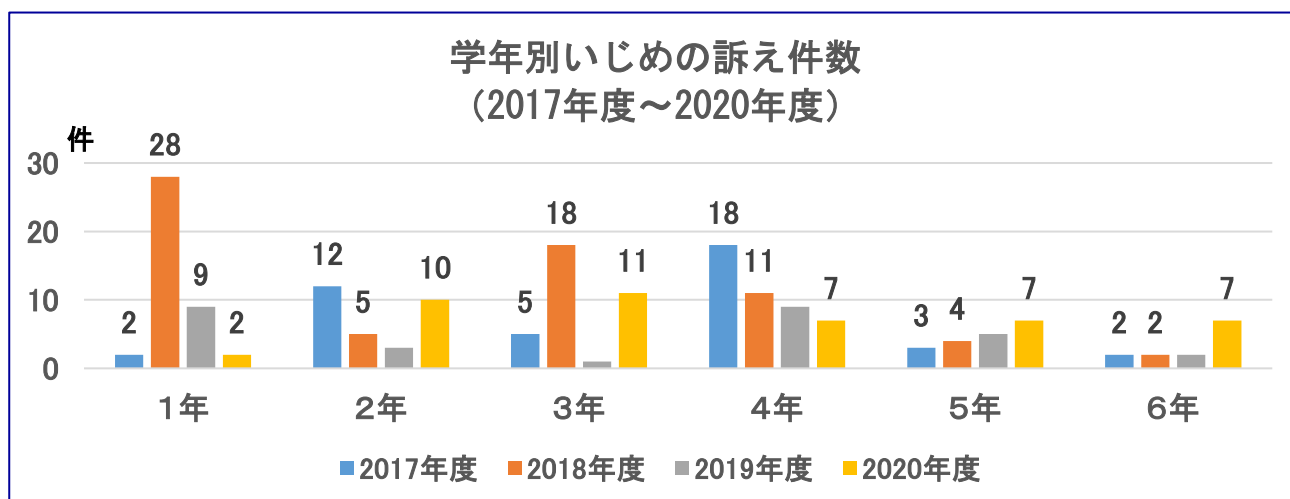


図3-14 学年別いじめの訴え件数の推移



毎年の「ふれあい月間」のアンケートから、いじめを早期に発見し、事実関係を明らかにするため、児童相互や保護者と話し合い、早期解決を図っています。

生活指導夕会やいじめ防止対策委員会で教職員間の情報交換を行うとともに、児童には教員にSOSを伝える指導をしています。

さらに、教育課程全体で、自分の思いを温かな言葉で伝えるとともに、相手の立場に立って思いを受け止める指導を積み重ねてきました。

## 第4章 重点的・優先的に取り組むべき問題点

本校のけがの発生状況から、重点的に・優先的に取り組むべき問題点を明確にしています。

場 所		優先的に取り組むべきけがなど	参照データ	
身体的側面	学校内	校舎内	①教室でのけがが多い。 ②休み時間と体育授業でのけがが多い。 ③1、2年生のけがが多い。	図3-3 図3-4
		校舎外	④校庭でのけがが多い。 ⑤打撲と擦り傷のけがが多い。	図3-3 図3-6
	学校外	通学路	⑥登下校中にもけがが発生している。	図3-2 図3-7
心理的側面		⑦友人関係のトラブル ⑧コロナ不安	図3-13 図3-14	

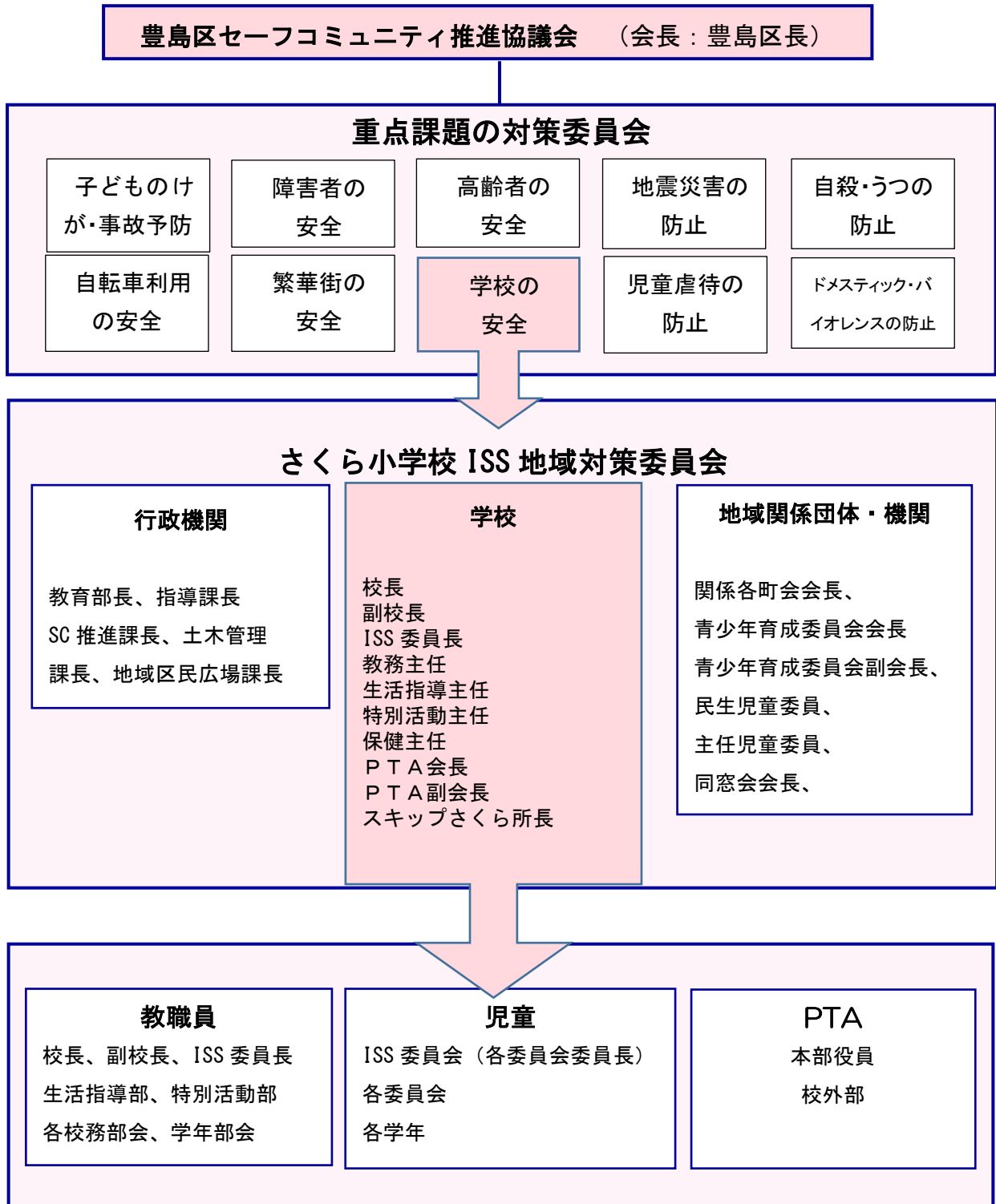
## 第5章 8つの指標に基づいた取り組み

### 指標1

教師、子ども、事務・技術スタッフ、保護者の協働を基盤とした安全向上のための運営体制が整備されている

#### 1 インターナショナルセーフスクールの推進組織

本校は、「豊島区セーフコミュニティ推進協議会」の「学校安全対策委員会」と「さくら小学校 ISS 地域対策委員会」の下で「さくら小学校 ISS 活動」に取り組んでいます。





さくら小学校では「国・東京都・豊島区の安全に関する政策」に基づいて安全な学校づくりを進めています。

## 1 文部科学省の政策「第2次学校安全の推進に関する計画」（2017年3月）

本計画は、学校保健安全法に基づき、学校安全の推進に関する施策の方向性と具体的な方策を示すもので、第1次計画期間（平成24～28年度）が終了することから、中央教育審議会の審議を踏まえて、新たな5年間の計画として策定されたものです。

「第2次学校安全の推進に関する計画について（通知）」より

### 1. 目指すべき姿

- ①全ての児童・生徒等が、安全に関する資質・能力を身に付けることを目指す。
- ②学校管理下における児童生徒等の事故に関し、死亡事故の発生件数については限りなくゼロとすることを目指すとともに、負傷・疾病の発生率については障害や重度の負傷を伴う事故を中心に減少傾向にすることを目指す。

## 2 東京都教育委員会の施策

### (1) 「安全教育プログラム」（2020年）

東京都教育委員会は、全ての子供たちに、危険を予測し回避する能力や他者や社会の安全に貢献できる資質・能力を身に付けさせる安全教育を推進するため、平成21年度から総合的な指導資料である「安全教育プログラム」を作成し、都内公立学校の全ての教員に配布しています。配付された資料は、安全教育の充実のために各学校で活用されています。

### (2) 「いじめ総合対策【第2次】[学校の取組編][実践プログラム編]」（2017年）

東京都教育委員会は、平成26年6月に成立した「東京都いじめ防止対策推進条例（以下「条例」という。）」に基づき、同年7月に「東京都いじめ防止対策推進基本方針」及び「東京都教育委員会いじめ総合対策（以下「旧いじめ総合対策」という。）」を策定しました。（中略）各学校においては、平成29年度から32年度までの4年間、この「いじめ総合対策【第2次】」に基づき、改めて、いじめ防止等の取組の強化・徹底を図っていくこととなります。都内公立学校の全ての教員に配布され、各学校で活用されています。

## 3 豊島区の施策

「豊島区教育ビジョン2019」による安全・安心な学校（2019年）

### ○生涯にわたって運動に親しむ態度の育成

#### ■方向性

都会で生活している豊島区の幼児・児童・生徒の体力・運動能力は、運動する時間・場所・機会の減少や生活習慣及び遊びの変化などにより、改善が進まない状況にあります。これまでも、「一校（園）一取組」運動など、学校生活において、体を動かし、積極的にスポーツに親しむ習

慣を育成してきました。さらに、幼児・児童・生徒の運動の質と量の確保に努め、今後も、地域や家庭と連携して、継続的・長期的に体力づくりに取り組みます。

加えて、インターナショナルセーフスクール（ISS）の取り組みを充実させ、児童生徒の危険回避能力を育成します。

#### ○いじめ防止対策の充実

##### ■方向性

いじめについては、区全体での取り組みをさらに充実させるため「豊島区いじめ防止対策推進条例」等の改正を行う予定です。今後もいじめの早期発見・早期対応を図るとともに、いじめを生み出す構造的な課題に目を向け、いじめの未然防止を目指した組織的な取り組みを進め、すべての子供たちが安心して生活し、学ぶことができる学校づくりを進めます。

#### ○地域で支える教育活動の推進

##### ■方向性

地域における学習活動を活性化し、様々な課題等に対応するとともに、地域の教育力を生かした教育活動の推進を図ります。

## 4 学校の方針

### (1) 本年度の教育方針（2021年）

**安心・安全な学校作りを推進する。**

- いじめの撲滅と望ましい人間関係の確立
- 安心・安全な環境作り

### (2) 主な施策（2021年）

#### ●ISS認証を目指し、安全・安心な学校作りを目指します。

一人一人の児童に、学級内での所属感、存在感、充実感を持たせるために自己実現の場や機会をつくり、生き生きと生活できるようにします。

**心身共に安心安全な学校作りに努めます。**

**保護者や地域との連携に努めます。**

### (3) 児童会活動のスローガン

**心明るく元気で笑顔なさくらの子  
夢に向かって突き進もう**

（2021年5月）

指標 3

長期的・継続的なプログラムによって、全ての性別・年齢（学年）、環境、状況がカバーされている

本校では、安全診断に基づいて安全向上に向けた取り組みを進めています。それらの取組は下記の通り、両性・全年齢・環境・状況をカバーしています。

( 1 : 環境改善      2 : 規制・ルール・人間関係づくり      3 : 啓発・教育 )

			児 童	教職員	地域・保護者 関係機関
体の けが	学校内	校舎内	1-2 ケガマップの作成、 掲示、活用 (取組 1) 1-3 児童による安全点検 1-5 遊び場 (取組 14) 3-1 ISS だより 3-23 給食のおしゃべりゼロ 運動 (取組 3)	1-1 校内危険箇所ゼロ運動 (取組 6) 1-4 校内消毒、並び方マークの 表示 (取組 7) 3-3 救急救命講習会 3-4 安全指導 3-5 安全学習カリキュラム作成 3-11 いじめ防止委員会 3-12 いじめ情報共有 3-13 道徳授業研究 3-28 体育授業でのケガゼロ 運動 (取組 2)	
		校舎外	3-15 1年生交通安全教室 3-17 自転車安全教室 3-20 歩行者シミュレータ	3-17 自転車安全教室 3-24 看護当番等による見回り (取組 5)	3-17 自転車安全教室
	学校外	通学路	3-2 通学路探検 3-19 引き渡し訓練 3-22 地域班下校	3-2 通学路探検 3-14 教職員・PTAのあいさつ 運動 (取組 11) 3-22 地域班下校	3-14 教職員・PTAの あいさつ運動 (取組 11) 3-15 1年生交通安全 教室 3-19 引き渡し訓練
		地域	2-4 町探検 2-11 豊島ふるさと学習 3-18 地域安全マップ 3-19 サンキューカード 3-27 総合防災訓練 (取組 13)	3-18 地域安全マップ 3-25 学区域危険場所調査 (取組 8) 3-27 総合防災訓練 (取組 13)	2-11 豊島ふるさと学習 3-18 地域安全マップ 3-21 PTAによる学区域 安全マップ作り (取組 10) 3-25 学区域危険場所 調査 (取組 8) 3-27 総合防災訓練 (取組 13) 3-26 PTA 地域の見守り 活動 (取組 9)
心の けが	いじめ 等	2-1 あいさつ運動 2-2 異年齢集団活動 (なかよし班活動) 2-3 人権の花 2-5 「さくらのルール」「さくら しぐさ」の実践 (取組 4) 3-6 6年生による 1年生支援活動 3-7 読み聞かせ 3-9 ユニセフ募金活動 3-15 1年生交通安全教室 3-16 新1年生の集団下校 3-17 自転車安全教室	3-7 読み聞かせ 3-9 ユニセフ募金活動 3-10 外部機関との連携 (養護教諭やカウンセラーに よる心のサポート) (取組 12) 3-11 いじめ防止委員会 3-12 いじめ情報共有 3-13 道徳授業研究 3-14 教職員・PTAの あいさつ運動 (取組 11)	3-7 読み聞かせ 3-8 語りの会 3-9 ユニセフ募金活動	

## 1 環境改善

1-1 ケガマップの作成、掲示、活用		新規	継続	拡大	修正
対象	教職員				
取組概要	全教職員が点検箇所を分担して、毎月1回担当施設・設備の安全点検を行います。				

1-2 校内危険箇所ゼロ運動(生活指導朝会でのケガデータの共有)		新規	継続	拡大	修正
対象	教職員				
取組概要	毎週金曜日、けがデータをもとに情報交換し、環境改善や生活指導を共有します。				

1-3 児童による安全点検		新規	継続	拡大	修正
対象	児童				
取組概要	運動委員会の児童が、みんなで使う遊具や体育用具のけが防止のために安全点検を行います。				

1-4 校内消毒、並び方マークの表示		新規	継続	拡大	修正
対象	児童				
取組概要	運動委員会の児童が、みんなで使う遊具や体育用具のけが防止のために安全点検を行います。				

1-5 遊び場		新規	継続	拡大	修正
対象	児童				
取組概要	安全に遊ぶために、遊ぶ場所を分けます。				

## 2 規制・ルール・人間関係づくり

2-1 あいさつ運動		新規	継続	拡大	修正
対象	児童				
取組概要	年間を通して、全学級全児童が交代であいさつ当番として校門や玄関、廊下等で児童、教職員、朝のあいさつを呼びかけています。				

2-2 異年齢集団活動(なかよし班活動)		新規	継続	拡大	修正
対象	児童				
取組概要	1年生から6年生までの異年齢で「なかよし班」を構成し、遊びや全校遠足、清掃、給食等の活動を年間を通して行っています。				

2-3 人権の花活動		新規	継続	拡大	修正
対象	児童				
取組概要	毎年、環境委員会児童が、人権尊重活動のシンボルである「人権の花」の栽培活動に取り組んでいます。				

2-4 町探検		新規	継続	拡大	修正
対象	児童				
取組概要	毎年、3学年の「総合」「社会」の学習を中心に、自分たちの暮らす町のことをより詳しく知ったり、よさや課題を発見したりする学習活動を通して、自分たちにできることを考え、提案・実践していく力を高める活動に取り組んでいます。この活動を通して、地域の人々とのかかわりをより深めています。				

2-5 「さくらのルール」「さくらしぐさ」の実践		新規	継続	拡大	修正
対象	児童				
取組概要	子供達の声を基に、さくらのルール、さくらしぐさを定めた冊子を作成し、毎日学校に持ってきています。相手の気持ちを考えた行動や思いやりをもった行動を進んでしようという子供達を育成します。				

### 3 啓発・教育

3-1 ISS だより		新規	継続	拡大	修正
対象	児童				
取組概要	ISS 活動について意識を高めるため、ISS 委員会がアンケートをしたり、活動を紹介したりするお便りを出しています。				

3-2 食育活動		新規	継続	拡大	修正
対象	児童				
取組概要	給食委員会児童が、栄養表示、献立・献立に関わるトピック紹介活動とともに、けが防止に向けた食育広報活動等の活動に取り組んでいます。				

3-3 救急救命法講習会		新規	継続	拡大	修正
対象	教職員				
取組概要	毎年1学期に全教職員で、食物アレルギー対応の自主研修会や、水難事故等対応のため、消防署の救急救命講習を受講しています。				

3-4 安全指導(月1回)		新規	継続	拡大	修正
対象	児童				
取組概要	毎月1回各学級で諸分野の安全に関わる意識・危機回避能力の向上をめざし、月ごとの安全指導計画に沿って指導をしています。より児童の主体的な学びを目指し、提示教材を工夫し、児童の「気づき」を大切にしています。				

3-5 安全学習カリキュラム作成		新規	継続	拡大	修正
対象	教職員				
取組概要	これまでの各学年のカリキュラムに安全指導内容に ISS 活動を関連付けたカリキュラムを加え系統的な指導を行っています。				

3-6 6年生による1年生支援活動		新規	継続	拡大	修正
対象	1年生、6年生児童				
取組概要	新年度の4月、6年生がそれぞれの担当の1年生を決め、登校時に玄関や教室での荷物整理等の手順を支援し、学校生活をスムーズに行えるように応援しています。				

3-7 読み聞かせ		新規	継続	拡大	修正
対象	児童				
取組概要	年2回、図書委員の児童が絵本の読み聞かせを行っています。教職員や保護者のかたも読み聞かせを行っています。物語を通して、思いやりの心等、温かい優しい心が大きくなっていくことを願って取り組んでいます。				

3-8 語りの会		新規	継続	拡大	修正
対象	児童				
取組概要	年1回高学年を対象に読み聞かせやパネルシアターを行っています。物語を通して、思いやりの心等、温かい優しい心が大きくなっていくことを願って取り組んでいます。				

<b>3-9 ユニセフ募金活動</b>		新規	継続	拡大	修正
対象	児童、教職員、保護者				
取組概要	毎年、1週間程度代表委員が呼びかけて募金活動に取り組んでいます。集まったお金は、ユニセフに贈ります。募金活動を通して世界の子どもたちの現状を知ると共に、自分にできることを考え、実践する力を高めています。				
<b>3-10 外部機関との連携(養護教諭やカウンセラーによる心のサポート)</b>		新規	継続	拡大	修正
対象	児童				
取組概要	悩みや学校・学級生活等への不満を抱いている児童の話し相手となり、悩みを聞いたアドバイスをしたりしています。児童が気軽に相談できるよう細やかな環境づくりを心がけています。				
<b>3-11 いじめ防止委員会</b>		新規	継続	拡大	修正
対象	教職員				
取組概要	毎月1回、各学級の児童の様子を報告し合い、「いじめ」の観点を中止に課題把握と対応策の共有を図っています。いじめの「早期発見・早期対応」に取り組んでいます。				
<b>3-12 いじめ情報共有</b>		新規	継続	拡大	修正
対象	教職員				
取組概要	毎週1回、生活指導朝会でいじめ案件等を報告し合い、「いじめ」の観点を中止に課題把握と対応策の共有を図っています。いじめの「早期発見・早期対応」に取り組んでいます。				
<b>3-13 道徳授業研究</b>		新規	継続	拡大	修正
対象	児童、教職員				
取組概要	「道徳」の授業研究に取り組んでいます。児童の主体的な話し合い活動を指導すると共に、多様な見方・考え方、豊かな心の育成をめざして取り組んでいます。				
<b>3-14 教職員、交通指導員、警察官、PTAによる登下校の安全確保</b>		新規	継続	拡大	修正
対象	児童				
取組概要	毎朝、通学路や校門前で朝のあいさつを交わす活動を通し、交通事故や不審者から児童を守る活動に取り組んでいます。PTAの方々は春と秋の「交通安全週間」の時に登校指導を行い通学路の危険箇所でも見守りをします。				
<b>3-15 1年生交通安全教室</b>		新規	継続	拡大	修正
対象	1年生児童				
取組概要	交通事故に遭いやすい4月に、目白警察の警察官に道路の歩き方を指導していただいています。				
<b>3-16 新1年生の集団下校</b>		新規	継続	拡大	修正
対象	1年生児童				
取組概要	毎年、新1年生入学後の約1ヶ月間は、1年担任と教育支援員等が付き添い、帰宅方向別のグループに付き添って下校時の安全確保のため下校指導・見守りを行っています。				
<b>3-17 自転車安全教室(学校、保護者、警察との協働活動)</b>		新規	継続	拡大	修正
対象	3年生児童				
取組概要	自転車乗車が増える3年生の1学期に、保護者・目白警察の方々の協力を得て、自転車安全教室を開催しています。交通ルールや自転車乗車時の安全点検・確認等について模擬道路を使って学習しています。				

<b>3-18 地域安全マップの作成</b>		新規	継続	拡大	修正
対象	3年生児童				
取組概要	実際に地域を歩いて「地域安全マップ」の作成に取り組んでいます。				

<b>3-19 引き渡し訓練</b>		新規	継続	拡大	修正
対象	児童、保護者				
取組概要	災害時や犯罪事件発生を想定した児童引き渡し訓練を実施しています。通学路上の危険箇所発見にも留意するよう安全意識の向上を図っています。				

<b>3-20 歩行者シミュレータ</b>		新規	継続	拡大	修正
対象	児童				
取組概要	毎年4月に低学年児童を対象に、目白警察の方に道路の歩き方を指導していただいています。				

<b>3-21 PTAによる学区安全マップ作り</b>		新規	継続	拡大	修正
対象	児童				
取組概要	毎年年度当初にPTAの方が、学区内のこども110番の家や交通安全、不審者に気をつける場所をピックアップした地図を作成、配布し、安全意識を高めています。				

<b>3-22 地域班下校</b>		新規	継続	拡大	修正
対象	児童				
取組概要	災害や犯罪事件発生を想定して、毎年年度当初に地域班を編制し、集団下校を行います。同じ地域に住む様々な学年の友だちと交流を図り、通学路の安全について確認します。教員が通学路の安全点検も行き、情報を共有します。				

<b>3-23 給食のおしゃべりゼロ運動</b>		新規	継続	拡大	修正
対象	児童				
取組概要	給食準備から片付けまでおしゃべりをせずに行います。座席は前向きで黙食をします。				

<b>3-24 看護当番等による見回り</b>		新規	継続	拡大	修正
対象	児童				
取組概要	校舎内、校庭を3人の看護当番が見回り、安全指導を行います。				

<b>3-25 学区危険場所調査</b>		新規	継続	拡大	修正
対象	教職員、地域				
取組概要	学区を巡り、危険箇所を把握します。情報共有したり改善したりし児童の登下校の安全に役立てます。				

<b>3-26 PTA・地域の見守り活動</b>		新規	継続	拡大	修正
対象	児童				
取組概要	PTAで毎日児童の登下校の見守りを行います。				

<b>3-27 総合防災訓練</b>		新規	継続	拡大	修正
対象	児童、教職員、地域・保護者				
取組概要	地域の方と一緒に防災について考え、訓練を行います。				

<b>3-28 体育授業でのケガゼロ運動</b>		新規	継続	拡大	修正
対象	児童、教職員				
取組概要	体育でのルール徹底、器具の安全な扱い方を徹底します。教員の研修も行います。				

### 1 災害対策

2011年3月11日の「東日本大震災」以降、東京で観測された震度4以上の地震は34件あります。1年間の平均は3件以上となります。震度3以下の地震も含めると、近年再び地震の発生が増えてきています。30年以内には確実に発生すると言われている首都直下型大規模地震への備えは、全児童・保護者・地域住民をすべてにとって重要な課題です。

図5-2

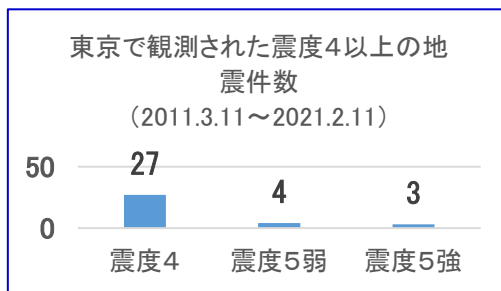


図5-3 学校・保護者・地域合同防災訓練



### 2 けがの防止

けがマップはけがの多い場所での安全な行動を意識付けています。休み時間の見守りは、看護当番の教員が校庭での安全な遊び方等と呼びかけています。遊び場の工夫は 遊び場のルールを決めて、けがをしないようにしています。

図5-4・5・6 けがの防止にむけて



### 3 感染症対策

ISS委員会が給食のおしゃべりゼロ運動の呼びかけをしています。次の人が並ぶ場所を足形で指示して、「密」を防いでいます。教員手作りのパーティションを活用し、意見交流を大切に授業を行っています。

図5-7・8・9 感染症防止の取組み





(1) 安全診断の結果

		場 所	問 題	取 組
身 体 的 側 面	学 校 内	校舎内	問題① 休み時間の教室でのけがの発生が多い。	取組5 看護当番等による見回り 取組1 けがマップの作成、掲示、活用
		校舎外	問題② 休み時間の校庭でのけがの発生が多い。 問題③ 体育の授業での校庭でのけがの発生が多い。	取組5 看護当番等による見回り 取組1 けがマップの作成、掲示、活用
	学 校 外	通学路	問題④ 登下校のけがが発生している。	取組11 教職員・PTAのあいさつ運動
		その他の地域		取組13 総合防災訓練

(2) 総合防災訓練

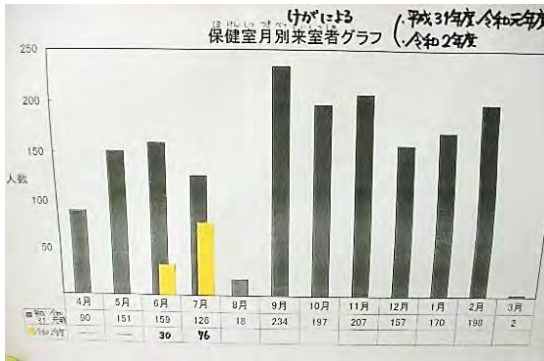
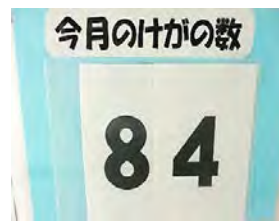
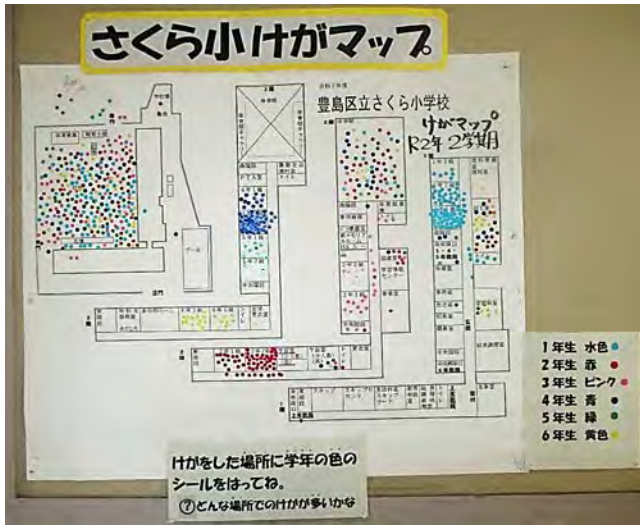
総合防災訓練の様子です。

学校としても、地域と連携して防災意識を高めるため、避難訓練の一環として、総合防災訓練に参加し、児童・教員、一緒に安全・安心への意識を高めています。



### (3) けがマップの作成

保健委員会では、保健室に来室した人に、けがをした場所を聞き「けがマップ」を作成しています。また、けがをした人数の累計と、月ごとの集計を保健室前に掲示しています。



**12月のけがまとめ** 豊島区立さくら小学校  
 (12月11日) ← 12月15日  
 12月 けがをして保健室で手あてを受けた人 **214人** R3. 1. 15 保健委員会

**どんなけが?**

1. 打撲 93人(66)	4. 継続 24人(20)	8. ねんざ 3人(5)
2. 擦り傷 5人(35)	5. 切り傷 5人(9)	8. その他 3人(3)
3. いたみ 27人(28)	5. 突き指 5人(17)	9. 骨折 1人(0)
	5. さし指 5人(1)	

**けがをした時間** ★ 体育授業と休憩時間のけががふえています

M. 体育授業 64人(55%)	5. 普通授業 11人(10%)
2. 20分休み 43人(31%)	6. 給食 8人(7%)
3. 登休み 37人(25%)	7. 学校活動 7人(8%)
4. 休憩時間 21人(8%)	8. 家庭 5人(5%)
5. 実験実習 11人(1%)	9. 登下校 4人(3%)
	10. 始業前 2人(7%)
	11. 放課後 7人(0%)

**けがをした場所**

1. 校庭 ... 116人(54%)	5. 廊下階段 ... 11人(5%)
2. 教室 ... 93人(38%)	6. 特別教室 ... 6人(3%)
3. 体育館 ... 21人(23%)	7. 屋上昇降口 ... 1人(1%)
4. 家 ... 12人(8%)	その他 ... 2人(1%)

★ 校庭でのけががふえているので、けがをしないように気を付けましょう

けがをして保健室で手あてを受けた人の人数

月	人数
4月	30
5月	129
6月	62
7月	121
8月	155
9月	177
10月	177
11月	214
12月	214
1月	2
2月	2
3月	2

児童保健委員会で毎月作成し、各クラスに配布している「けがまとめ」新聞です。

### 1 校内におけるけがの記録

けがに関する様々な情報は、保健室で収集し、集計・分析しています。

1	校内におけるけがの記録	軽微なものを含むけが (保健室データ)	保健室において、「けがのきろく」シートを使い、けがや事故の情報収集をし、統計処理をしています。	月1回分析
		通院を要するけが (災害共済給付データ)	学校管理下における児童の災害医療費請求のため、日本スポーツ振興センターへ提出する記録を区に提出しています。	年1回分析
2	いじめ実態調査 (アンケート)	いじめの発生件数	全児童を対象に、児童自身がいじめと感ずることや友だちがいじめの被害にあっていないか調べています。	学期1回分析

○「時間」「けがの種類」「けがの部位」「場所」を記録します。

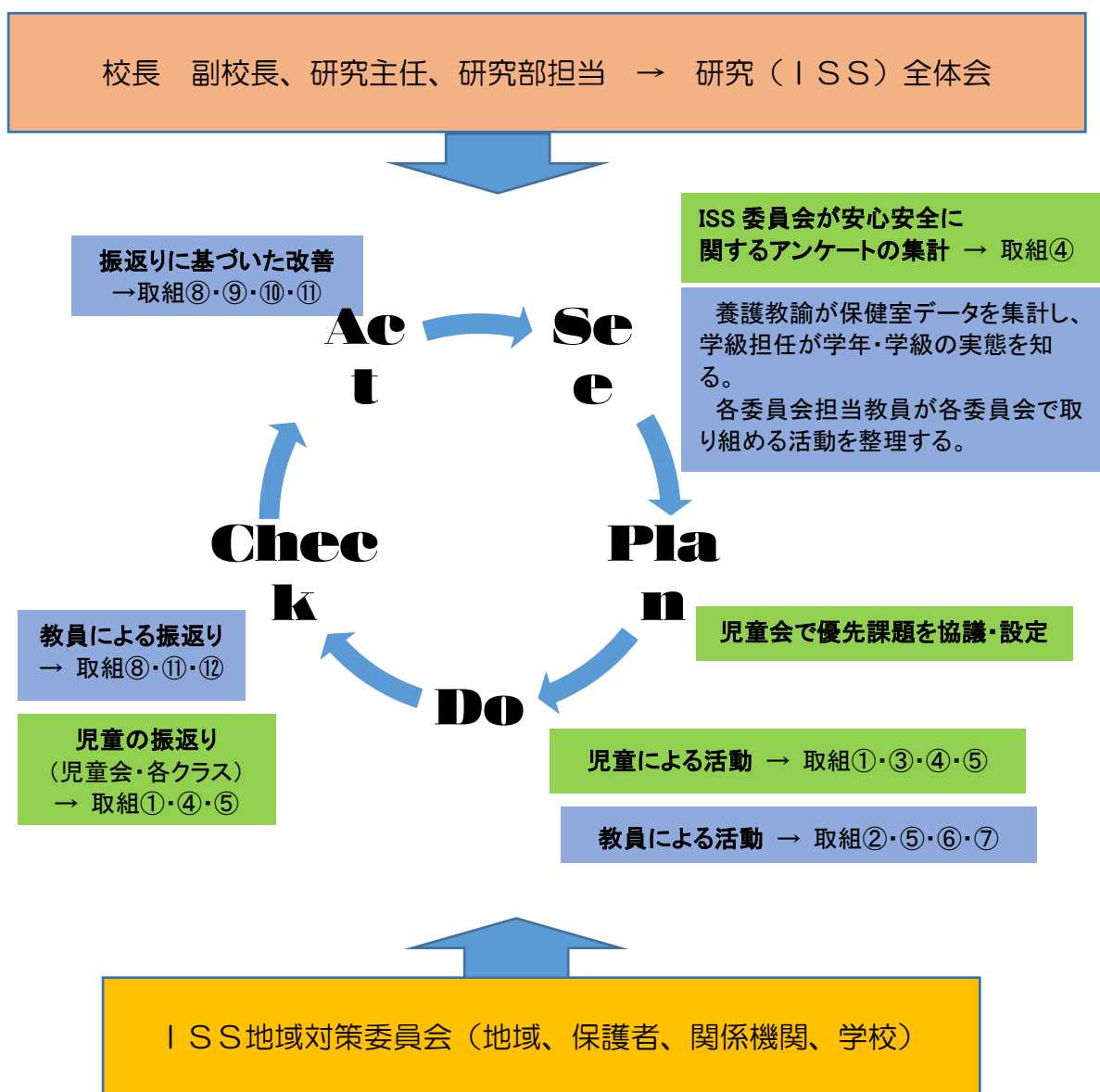
- ・校内におけるけがの記録は、校務システムで全教職員が共有できています。
- ・保健室では来室児童のけが等の情報を記録保存しています。

日付	天気	入室時間	退室時間	学年	組	番号	氏名	種別	体温	脈拍	症状	部位
2021/04/09	晴れ	10:30	10:35	5年	1組	14	〇〇 □□	外科			擦り傷	膝左)
2021/04/09	晴れ	11:10	11:13	3年	1組	13	□□ △△	外科			その他 (目打撲)	眼
2021/04/09	晴れ	12:10	12:13	6年	2組	24	△△ 〇〇	外科			いたみ	下肢
2021/04/10	雨	8:50	8:53	1年	2組	2	〇〇 □□	外科			打撲	顔面
2021/04/10	雨	10:15	10:20	6年	2組	10	□□ △△	外科			打撲	下肢

処置	場所	場合	原因	備考	災害申請	日誌へ転記
手当て (洗浄・絆創膏で保護)	校庭	休憩時間	転倒	つまずいて転倒した。		○
手当て(冷やす)	教室	普通授業	飛来物	画用紙が当たった。		○
手当て	体育館	普通授業	不注意	ドッジボール中にひねった。		○
手当て(冷やす)	教室	普通授業	不注意	歩いていた時よろけて机にぶつけた。		○
手当て(シップ剤)	階段	休憩時間	転倒	階段で転倒して右膝を打った。		○

### 1 プログラムの進行管理

校長、副校長、研究主任、研究部担当がプログラム原案を作成し、研究（ISS）全体会で検討します。研究部（研究推進部、PR部、環境資料部）でさらに検討し、進行していきます。評価は、ISS地域対策委員会によって行います。



## 2 対策と成果指標

取組	目標	活動評価	成果の確認(評価)		
			短期 (意識・知識の変化)	中期 (行動・態度の変化)	長期 (状況の変化)
取組① けがマップの作成、掲示、活用	校舎内での危険箇所ゼロ	教員による安全点検	教員による危険箇所の把握	点検後の修理・修繕	環境によるけがの減少
取組② 体育授業でのけがゼロ運動	体育授業内のけがを減らす	体育科教員の声かけ、準備運動の強化	意識を高め安全行動につなげる	継続した呼びかけの実施により、けがの件数が減少	ふざけや不注意によるけがが減少
取組③ 給食のおしゃべりゼロ運動	給食中のおしゃべりをなくし、落ち着いて給食時間を過ごす	学級指導や放送での呼びかけ	コロナ感染症予防につなげる	給食中に落ち着いて過ごし、けがを防止する	落ち着いた学校生活を送ることで心身ともに健康に過ごす
取組④ 「さくらしぐさ」「さくらルール」の実践	自分も相手も大切にすること	授業等での活用	児童による内容の改定	「さくらしぐさ」「さくらルール」を守った生活をする	心穏やかに落ち着いた学校生活を送り、けがやけんかがなくなる
取組⑤ 看護当番等による見回り	休み時間のけがを減らす	看護当番教員等の声かけ、意識の強化	児童、教員ともに意識が高まり安全行動につなげる	継続した呼びかけの実施により、けがの件数が減少する	衝突など事故によるけがが減少する
取組⑥ 校内危険箇所ゼロ運動	校内の危険箇所を早期発見し、安全に生活できるようにする	教員による安全点検と意識強化	危険箇所の早期発見、事故防止のための修繕	安全な学校生活	安全で、気持ちも落ち着いた学校生活
取組⑦ 校内消毒、並び方マークの表示	社会的距離を認識し、安全な暮らしを守る	各学級による確認	ルールの周知	ルールを守る児童の増加	けが、病気の減少
取組⑧ 学区危険場所調査	学区の危険な場所を把握する	危険箇所の把握	危険箇所を調べる	継続した確認と呼びかけにより、事件事故が減少	学区内の事件、事故が減少
取組⑨ PTA・地域の見守り活動	登下校時、放課後など、地域で子どもを守る意識を高める	安全安心への意識強化	活動の周知	危険の予測と声かけの増加	登下校中のけがの減少
取組⑩ PTAによる安全マップの作成・配布	学区の安全、危険を知る	危険箇所の把握	PTAによる危険箇所の把握、情報提供	危険な場所、安全な場所を認識し、注意して行動する	学区内の事件事故の減少
取組⑪ 教職員・PTAのあいさつ運動	あいさつの心地よさを体験し、落ち着いた心で生活する	安心への意識強化	意識が高まり、落ち着いた学校生活につながった	継続した呼びかけの実施により、けんかや問題行動が減った	けがやけんかがなくなり、落ち着いた学校生活になる
取組⑫ 外部機関との連携	I-checkの活用、SCとの連携等	情報収集	問題の早期発見	継続した支援	落ち着いた学校生活を送れるようになる。
取組⑬ 総合防災訓練	地域と連携し、防災意識を高める。	防災意識の強化	検討中	検討中	検討中
取組⑭ 遊び場所の指定	休み時間のけがを減らす	けがを防止する意識の強化	ルールの理解の徹底	ルールを守ることの徹底	けがの減少

	市内・区内	国内	国外
2019年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仰高小学校、池袋本町小学校のISS現地審査会へ参加</li> </ul>		
2020年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仰高小学校、池袋本町小学校のISS認証式へ参加</li> <li>・池袋町学校ブロック(池袋本町小学校、池袋中学校、池袋第一小学校)児童・生徒ISS委員紙面交流会にて情報交換</li> </ul>		
2021年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千川中、池袋第一小、池袋中の現地審査会オンライン参加予定</li> <li>・富士見台小等との児童交流予定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月埼玉県秩父市認証式参加予定</li> <li>・11月大阪府松原市認証式参加予定</li> <li>・神奈川県厚木市事前指導参加予定</li> </ul>	

### 1 これまでの成果

- 児童の ISS 委員会にて「さくらしぐさ」「さくらルール」の取組みについて議論し、全校児童によるアンケートをもとに見直しや改訂を行うことができました。児童が主体的に「安全・安心」の視点をもって委員会の活動を考えることができたことは、今後の様々な取組に繋げていくことが期待できます。
- けがマップ、けが新聞（保健委員会）の作成により、けがの状況を把握することができました。早期の声掛けや問題解決に生かすことができそうです。
- 給食おしゃべり0作戦（コロナ対応）により、給食時の準備、片付けまで含め、静かに行うことができ、感染症対策においても児童が主体的に取り組むことができた。
- 1・2年生の歩行者シミュレータや登下校指導により、登下校のけがが減少してきました。

### 2 今後の方向性

- 体育授業のけがが多いので、体育指導法の研修等を充実させて、体育授業でのけがを減らしていきます。
- 多くの活動がコロナ対応のため、できなかったので、オンラインの活用等やり方を工夫して行っていく予定です。
- けがマップ、けが新聞（保健委員会）等を活用し、各学級、学年、委員会の取組みを充実させていきます。
- 心のけがを防止する取組みを、充実させていきます。
- 総合防災訓練を中心に、地域・保護者と連携した取組をさらに充実させていきます。

